



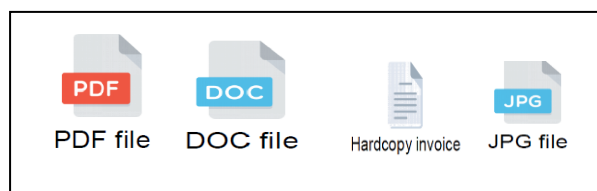
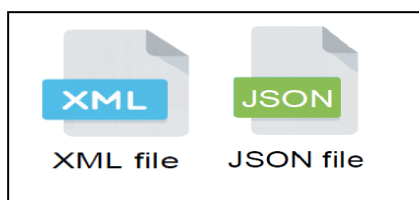
デジタル経済へのシフトとデジタル革命：電子インボイス導入に向けた進化

マレーシア政府は電子インボイス制度の導入計画を発表しましたが、これにより企業の税務や事業実務に大きな影響を与えることが予想されています。マレーシアにおける電子インボイスとは、単にインボイスをメールに添付し送付するような従来の方法とは異なります。

電子インボイス制度を理解する

a) 電子インボイスとは？

電子インボイスとは、売主と買主の間で行われた商取引の財務情報を電子データ化し、リアルタイムで捉えることを可能とする仕組みを指します。内国歳入庁（以下、IRB）によると、「電子インボイスとは、紙媒体の請求書（例：スキャンされたもの）やその他の取引文書の代替として、IRB によって指定された以下形式で作成されたもの」と説明しています。



e) 覚えておかなければいけない今後のスケジュールとは？

日付	詳細
2023年7月21日～ 2024年5月10日	電子インボイスガイドライン発行 (versions 1.0 ～2.3) 電子インボイス特定ガイドライン発行 (versions 1.0 ～ 2.1) ソフトウェア開発キット(version 1.0 及び version 1.0 の更新)
現在	企業は電子インボイス制度導入に向けた準備を進める必要 があります
2024年8月1日	年間売上高が1億リングットを超える法人による実運用開始
2025年1月1日	売上高が1億リングット以下、且つ2,500万リングットを超える法人による実運用開始
2025年7月1日	全ての法人による実運用開始